

総合的な学習の時間

第6学年

竹原市立吉名学園

指導者 原田 詩穂里

吉名人物PRプロジェクト ～地域の偉人を伝えよう～

1 単元のデザイン

単元の目標

地域の偉人について調べ、その功績等を伝える活動を通して、地域の偉人の功績や魅力等を知り、それらを伝えるために地域の偉人の生涯の中から伝える出来事を選んだり伝える方法を考えたりするとともに、自分たちが住む地域に対しての愛着を深めたり、自らの生活や行動に生かしたりすることができるようにする。

単元について

本単元のための主な活動は、地域の偉人の功績等を様々な人に伝えるため、地域の偉人を題材にした劇を作り、演じることである。本単元では脚本を児童が作る。脚本を作る過程で地域の偉人について調べた情報を、様々な人に伝えるという相手意識や目的意識をもって整理・分析することができる。また、劇では様々な役割をもった人たちが協働しなければならない。そのため、それぞれのよさを生かしながら協働する力を育成することができる。

本単元のための主な教材は地域の偉人である池田勇人さんである。本校の前身である吉名小学校・吉名中学校の卒業生である池田勇人さんは、吉名町出身の総理大臣であり、所得倍増計画等の様々な取組を行った人物として有名である。町内には銅像が数ヶ所設置されており、本校には直筆の書もある。児童にとっては身近な場面で目にする偉人である。池田勇人さんを調べることを通して、郷土を誇りに思う心、社会をよりよくしたいという心を育てることができる。

SDGsの視点：9 住み続けられるまちづくりを

本単元を通して、自分たちも町づくり等に参画したり、地域の文化遺産を守っていこうとしたりするようになることが期待できる。

児童生徒の実態

池田勇人さんについては、名前や元総理大臣だったことは知っているが、それ以上の詳しいことは知らないという児童がほぼ全員である。

ICT活用力については高い技能をもっている。これまでに教科や総合的な学習の時間でインターネットを活用した情報収集やプレゼンテーションソフトを活用した発表を行っている。また、昨年度の総合的な学習の時間に動画編集・発信の方法を学習している。そのため、ほとんどの児童がそれらの技能を身に付けている。しかし、プロの動画と比較すると、視聴者に分かりやすく伝えるための撮影や編集の方法が不十分であることにも気付いている。

プレゼンテーション力については、児童の意識は高い傾向にある。しかし、普段の様子からは発表はできるが、相手の反応に合わせて臨機応変に応じる力は乏しい。

協働する力については、1学期の授業等を通して身に付きつつある。しかし、まだ学級全体の場で意見を出し合ったり合意形成を図り協力して活動を進めようとしたりする力は不十分である。

指導の工夫

(1) プロジェクト型学習

児童が本気で課題解決に取り組むことができるよう、単元の冒頭で、池田勇人さんの親族の方から第6学年の児童に届けられた手紙を読み上げる。その後、「この手紙を受けて自分たちはどうしたいか」と問いかけ、単元の目標を設定する。

豊かな体験活動になるよう、地域の偉人について調べる際には、インターネットだけでなくフィールドワークやインタビューも行う。

児童が自分たちの劇を作ったり改善したりする際、自分たちにはない観点から考えることができるよう、実際に演劇をする方、もしくは演劇をしていた方から助言をいただく。

(2) ICT活用

本単元では主に協働の場面でICTを活用する。具体的には、池田勇人さんの劇をドラマに再編する際、動画編集ソフトを活用する。

(3) シンキングツールの活用

本単元では、主に以下の三つのシンキングツールを活用する。

- ① ステップチャート … 劇づくりの計画を立てる場面で用いる。
- ② ピラミッドチャート … 情報を順序付けて、必要なエピソードを考える場面で用いる。
- ③ PMIシート … 自分たちの劇を評価し、改善を図る場面で用いる。

2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	地域の偉人の生き様や功績、語り継いでいる方々の思いや抱える課題を理解している。 地域の偉人などに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域の偉人の生き様や功績、語り継いでいる方々の思いを理解している。 地域の偉人などに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域の偉人の生き様や功績を理解している。 地域の偉人などに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	地域の偉人の生き様や功績を理解していない。 地域の偉人などに関することの理解の深まりが探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。
	イ 技能	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、自分の伝えたいことが明確になるような工夫を取り入れて 30 秒～3分程度の動画 (CM・番組等) 制作することができる。	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、テロップやBGM等を入れて 30 秒～3分程度の動画 (CM・番組等) 制作することができる。	自分が撮影した映像等を基に、動画編集ソフトを用いて、30 秒～3分程度の動画 (CM・番組等) を制作することができる。	動画編集ソフトを用いて、動画制作することができない。
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願い、社会的な広い視野から課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビュー、資料の分析で得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビューで得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定し、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができる。	体験活動やインタビューで得た情報、自分たちの興味・関心や地域の方の思い・願いを基に課題を設定することができない。 また、課題解決に向けて様々なアイデアを出すことができない。
	エ 活動を計画・推進する力	課題解決に向けて、自分たちに必要な情報や準備物、解決方法や手順等の計画を立て、見直しをもって自発的・計画的に活動を進めている。	課題解決に向けて、自分たちに必要な情報や準備物、解決方法や手順等の計画を立て、見直しをもって計画的に活動を進めている。	課題解決に向けて、教師や地域の方等からの助言を参考に必要な情報や準備物、解決方法や手順等の計画を立て、見直しをもって計画的に活動を進めている。	教師や地域の方等の助言を受けても計画を立てられない。また、見直しをもって計画的に活動を進められない。
	オ 情報を収集する力	目的に応じて適切な情報収集の方法を選択するとともに、事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。さらに、情報の発信元や真偽を確かめながら、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	目的に応じて適切な情報収集の方法を選択するとともに、事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	事前に考えた質問項目だけでなく、別の観点で観察したり、相手の反応を見ながら臨機応変に追加の質問をしたりして、より詳しい情報を収集している。また、図書資料やインターネットを使って、必要な情報を収集している。	事前に考えた質問項目を聞くだけでインタビューが終わっている。あるいは、図書資料やインターネットを活用しても必要な情報を収集することができない。
	カ 整理・分析する力	様々な情報を、内容や目的と照らし合わせて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、それを用いて比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて、比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて比較・分類したり、関係付けたりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて比較・分類したり、関係付けたりできない。また、特徴等を見付けられない。
	キ 表現する力	他者の共感を得ることができるように、これまでに学習したことを生かして、構成を工夫して脚本を作ったり、台詞の言い方や動き、BGM等を工夫しながら劇を演じたりしている。	これまでに学習したことを生かして、構成を工夫して脚本を作ったり、台詞の言い方や動き、BGM等を工夫しながら劇を演じたりしている。	起承転結を意識して脚本を作ったり、台詞の言い方や動き、BGM等を工夫しながら劇を演じたりしている。	構成や演技を工夫していない。
	ク 発想する力 工夫する力	社会の状況や観客の傾向を捉え、劇の全体構成や台詞等、よりよく伝えるための方法を考え、自分なりに工夫している。	観客の傾向を捉え、劇の全体構成や台詞等、よりよく伝えるための方法を考え、自分なりに工夫している。	劇の全体構成や台詞等、よりよく伝えるための方法を考え、自分なりに工夫している。	自分なりの工夫していない。
	ケ 評価する力	自分たちが作った劇や制作物を見直し、よい点や改善点などを考えて伝えるとともに、自己評価と他者評価を基に、その都度改善している。	自分たちが作った劇や制作物を見直し、よい点や改善点などを考えて伝えるとともに、自己評価や他者評価を基に改善している。	自分たちが作った劇や制作物を見直し、よい点や改善点などを考えて伝えるとともに、他者評価を基に改善している。	自分たちが作った劇や制作物を見直しても、よい点や改善点等を見付けられない。他者の評価を受けても、よりよいものになるように改善していない。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合ってもその場で臨機応変に対応したり改善を図って再挑戦したりして、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて、実社会の場でも進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて、進んで挑戦し、失敗や困難に出合っても改善を図って再挑戦し、最後までやり切ろうとしている。	課題の解決に向けて挑戦しようとしていない。失敗や困難に出合ったらあきらめている。
	サ 協働する力 (協調性)	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図るとともに、自他のよさを生かしながら協力して活動を進めようとしている。	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図るとともに、自分のよさをいかしながら協力して活動を進めようとしている。	課題解決に向けて、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図りながら協力して活動を進めようとしている。	自分の意見を出そうとしていない。また、相手が納得するかを気にしていない。さらに、協力して活動を進めようとしていない。
	シ 将来を設計する力	活動を振り返る中で、自分や友達、地域のよさに気付くとともに、夢や希望をもち、自分の将来を切り拓こうとしている。	活動を振り返る中で、自分や友達、地域のよさに気付くとともに、自分のよさをさらに伸ばそうとしたり、将来について考えたりしている。	活動を振り返る中で、自分や友達、地域のよさに気付くとともに、自分のよさをさらに伸ばしていこうとしている。	活動を振り返っても、自分や友達、地域のよさに気付いていない。

3 指導と評価の計画（全 40 時間）

時	学習活動	シンキング ツール	評価規準 (評価方法)
1	<ul style="list-style-type: none"> ●池田勇人さんの親族の方から届いた手紙を読み、本単元の課題を設定する。 ・第5学年の総合的な学習の時間にインタビューした池田勇人さんの親族の方から届いた手紙を読む。手紙の最後にあった「授業で取り上げ、池田勇人さんをどう思ったかを伺いたい」という言葉を受け、どうしたいかを話し合う。 ・自分たちが池田勇人さんをあまり知らないことを自覚し、池田勇人さんについて調べるという課題を設定する。 		(2)ウ (振り返りシートの分析)
2 ～ 9	<ul style="list-style-type: none"> ●池田勇人さんについて調べる。 ・インターネットや図書を活用し、池田勇人さんについて調べる。 ・町内にある銅像や生家を訪れたり、池田勇人さんを知る人にインタビューを行ったりする。 ・調べて分かったことを交流し、共有する。 		(1)ア (2)オ (2)カ (行動観察、 振り返りシートの分析)
10 ・ 11	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの人が池田勇人さんについて知らないことをきっかけに、新たな課題を設定する。 ・保護者の方が池田勇人さんのことを知らないことを知る。 ・池田勇人さんの認知度を調べるアンケートを実施する。 ・多くの人が池田勇人さんの功績を知らないことを知り、それをきっかけに、どうすれば多くの人に池田勇人さんのことを知ってもらえるかを話し合う。 ・劇を作って演じ、多くの人に池田勇人さんを知ってもらうという新たな課題を設定する。 		(2)ウ (2)オ (2)カ (行動観察、 振り返りシートの分析)
12 ～ 26 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ●池田勇人さんの劇を作る計画を立て、必要なことを話し合ったり、準備をしたりする。 ・脚本を作るために、必要なエピソードや台詞等を話し合う。それを基に、脚本を作る。 ・劇に必要な物を制作したり、演技の練習をしたりする。 	ステップチャート ピラミッドチャート	(2)エ (2)カ (2)キ (2)ク (3)サ (行動観察、 ワークシートの分析)
27 ・ 28	<ul style="list-style-type: none"> ●演劇をする方から自分たちの劇に対する助言をいただき、それを基に改善する。 ・演劇をする方に自分たちの劇を披露し、助言をいただく。 ・助言や自己評価を基に改善を図る。 	PMIシート	(2)ケ (3)コ (行動観察、 振り返りシートの分析)
29 ～ 39	<ul style="list-style-type: none"> ●池田勇人さんの劇を披露する。 ・学園祭で池田勇人さんの劇を披露する。 ・劇をドラマ風に再編し、地域のケーブルテレビで放送してもらおうよう依頼する。 ・地域のケーブルテレビの方の助言を基に改善を図る。 		(1)イ (2)ク (3)コ (行動観察)
40	<ul style="list-style-type: none"> ●活動を振り返る。 ・活動を振り返り、自分が池田勇人さんの学習を通して思ったことや考えたことをまとめる。 		(3)シ (振り返りシートの分析)

4 本時について

(1) 本時の目標

池田勇人さんについて多くの人に知ってもらうため、劇に必要なエピソードを話し合う活動を通して、意見を出し合い協力しながら活動を進めることができる。

(2) 本時の評価規準及びルーブリック

	S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(2)カ 整理・分析 する力	様々な情報を、内容や目的と照らし合わせて最も効果的だと思われるシンキングツールを選択し、それを用いて比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて、比較・分類したり、関係付けたり、多面的・多角的に分析したりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて比較・分類したり、関係付けたりして、特徴等を見付けている。	様々な情報を、シンキングツールを用いて比較・分類したり、関係付けたりできない。また、特徴等を見付けられない。
(3)サ 協働する力 (協調性)	劇に必要なエピソードを選ぶために、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図るとともに、自他のよさを生かしながら協力して活動を進めようとしている。	劇に必要なエピソードを選ぶために、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図るとともに、自分のよさをいかしながら協力して活動を進めようとしている。	劇に必要なエピソードを選ぶために、多様な意見を出し合いながら議論を行い、合意形成を図りながら協力して活動を進めようとしている。	自分の意見を出そうとしていない。また、相手が納得するかを気にしていない。さらに、協力して活動を進めようとしていない。

(3) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した児童生徒への指導の手だて)	評価規準 (評価方法)
1 これまでの学習を想起する。 ・池田勇人さんのお孫さんからお手紙をいただいて、それに応えるために池田勇人さんについて調べた。 ・劇にすれば学園祭でも披露できて、多くの人に知ってもらえる。	◇これまでの学習を想起することができるように、これまでの学習の履歴を見通せる掲示物を提示しておく。	
2 本時の課題を確認する。	◇必要なエピソードを選ぶ必要性に気付くことができるように、掲示している年表に載っているすべてのエピソードを入れて劇を作ろうと投げかける。	
池田勇人さんについてもっと知ってもらうための劇に必要なエピソードを選ぼう。		
3 個人で劇に必要なと思うエピソードを選ぶ。	◇黒板に「誕生」と「死去」の短冊を貼っておき、「死去」の後ろに余白を設けることで、死去後のエピソードにも目を向けることができるようにする。 ◆必要なエピソードを選ぶことが難しい児童には、「どのエピソードがあれば池田さんのことを知ってもらうことができるか」と声掛けを行う。	

<p>4 意見の交流をする。(班→全体)</p>	<p>◇児童が多様な意見を出し合うとともに、合意形成を図ることができるように、話し合う内容や留意点を提示しておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①どのエピソードが必要だと考えているか ②その意見の理由 ③相手の意見に対する反応を返す (納得したのか、納得していないのか)</p> </div> <p>◇合意形成が図られたことを分かりやすく示すために、決定したエピソードは短冊に記入し、黒板に貼っていく。</p>	<p>(2)カ (ワークシートの分析) (3)サ (行動観察)</p>
<p>5 本時の学習を振り返る。</p>	<p>◇各自が次時への見通しをもつために、本時で決めたことと次の時間にしたいことを記入するよう促す。</p>	

(4) 板書計画

9月21日(木)㊦

池田勇人さんについてもっと知ってもらうための劇に必要なエピソードを選ぼう。

誕生

大蔵大臣就任

内閣総理大臣就任

死去

☆話し合う時

①どのエピソードが必要だと考えているか
②その意見の理由
③相手の意見に対する反応を返す
(納得したのか、納得していないのか)

(5) 準備物

- ・ 電子黒板
- ・ Chromebook
- ・ 年表(短冊)